

令和6年度第5回社会教育委員及び公民館運営審議会委員会議

日時：令和7年1月28日（火）午前10時00分～

場所：八幡市役所 5階 会議室5-2

出席：藤原委員長（スポーツ団体）、秋山副委員長（学識経験者）、吉川委員（青少年育成団体）、辻井委員（文化団体）、前野委員（学校）、藤田委員（女性団体）、眞柄委員（人権教育団体）、金子委員（市民公募）、大寄委員（市民公募）、吉岡参事（生涯学習センター）、田制課長（文化財課長）、小坂館長（図書館）高橋課長（こども未来課）、川中教育長、橋口部長、辻課長、梶原、鳥居（事務局）

欠席：米子委員（PTA）

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 教育長挨拶

4. 議事

（1）報告事項

<事業報告>

○令和6年度第3回山城地方社会教育委員連絡協議会理事会

日時 令和6年12月13日（金）14時30分～

場所 田辺総合庁舎

出席 藤原委員長

○令和7年八幡市二十歳のつどい

日時 令和7年1月13日（月・祝）10時30分～

場所 八幡市文化センター 大ホール

出席 藤原委員長、秋山副委員長、前野委員

【内容】

（高橋課長）

今年の二十歳のつどい対象者は712人で、当日の参加者は519人でした。第一部で式典を行い、第二部で実行委員会主催による恩師を招いての交流会を開催しました。特に混乱等もなく無事終えることができました。また、当日は二十歳の方を対象として松花堂庭園に無料で入園いただけるようにしておりまして、二十歳の方48人と同伴者73人の合計121人の利用がございました。

○令和6年度山城地方社会教育委員連絡協議会研修会

日時 令和7年1月17日（金）14時00分～

場所 木津川市山城総合文化センター（アスパアやましろ）

出席 藤原委員長、秋山副委員長、吉川委員、辻井委員、眞柄委員、藤田委員

【内容】

（藤原委員長）

私を含めて4名で研修会での課題提起の発表を行いました。皆様のご協力があり、無事に終わることができました。研修会を運営されている事務局や参加者から内容の評価していただき、また、八幡市の委員や団体間の連携についても評価していただきまして、そのような声を聞きますと、八幡市における事業の推進はうまくいっているのではないかと感じることができました。これも委員の皆様や事務局のご尽力によるものと思っております。発表の内容は、子どもに関係するものでしたが、八幡市ではスポーツや文化など、さまざまな活動をしているものだと改めて感じましたし、他の市町村にも伝えることができました。私は、スポーツ協会の副会長やスポーツ少年団の本部長も務めており、京都府の会議にも出席をしておりますが、3歳の子どもから受け入れているスポーツ少年団は京都府の中でも八幡市しかないだろうと思っております。八幡市は、スポーツだけではなく、皆が協力し合える風土があると思っております。教育長には、少年野球大会の開会式等にもいつもお越しいただき、そのほかにもさまざまな事業を見ていただいておりますし、皆様の協力があった他市町村から八幡市が評価されていると感じております。皆様と共に活動できることに感謝申し上げます。

<今後の予定>

○第三回松花堂昭乗イラストコンテスト授賞式

日時 令和7年3月1日（土）13時30分～

場所 松花堂庭園・美術館 講習室

○第八回徒然草エッセイ大賞授賞式

日時 令和7年3月15日（土）13時30分～

場所 石清水八幡宮 清峯殿

出席 全委員

5. 議題

○「社会教育の方針と目標」（案）について

【内容】

（事務局）

「社会教育の方針と目標」は、中長期的な計画書のようなものであり、これまでの定例会において大幅な制度の改正や条文等の改正がない限りは毎年大きな修正を加えるのは望ましくないとご指摘をいただいております。この度は、現時点で関連する制度等に大幅な改正や変更はないため、昨年度と同様の内容で提案させていただきたいと存じます。

それでは、本案についてご審議をお願いいたします。

(藤原委員長)

いかがでしょうか。ご意見ございませんか。

(各委員)

意見等なし。

(事務局)

ご意見がないようですので、皆様より承認をいただいたということで、本案を2月の定例教育委員会で提案し決定してまいります。

6. その他

【内容】

(眞柄委員)

山城地方社会教育委員連絡協議会研修会の藤田委員が参加された分科会の内容についてもお知らせいただけたらありがたいです。

(藤田委員)

私が参加した第2分科会は、「城陽市における社会教育施設の現状と課題について」というテーマで、私は、どういう社会教育としての施設があるのかということに興味がありましたので、出席しました。発表された城陽市は面積が32.71km²で、八幡市の面積は24.35km²。人口は城陽市が7万2,218人で、八幡市が6万8,640人です。城陽市ではコミュニティセンターが6館あり、その6館は独自の委員で、報酬は全くないボランティアのことです。写真で見ると大きな施設のように、地域づくりに役立っているというコミュニティセンターの説明がありました。そういう施設は、八幡市でいうとどういう施設になるのでしょうか。生涯学習センターとかそういうところでしょうね。それが6つあるということですので、結構大きいですね。

(前野委員)

地区ごとにコミュニティセンターがあります。図書室もあるし、体育館もあるし、会議できるところもあります。

(藤田委員)

公民館もあるようですが、コミュニティセンターのほうが活発に活動しているようです。

(辻井委員)

私の班では、私が文化協会の活動として発表した、子ども文化祭を開催しているということに対していろいろとお話をいただきました。そのような事業はなかなかないとか、22年間続けていることも評価していただきました。そのほかにスポーツのキッズ教室もあり、青少年育成補導委員会の活動もあり、八幡市全体の子どもに対する気持ちがよく

伝わりましたということをお願いしました。自分の市でやりたくてもできないと言っている方もいました。

(眞柄委員)

新聞で、八幡市子ども会議についての記事を拝見しました。会議の中で、地域の公園のあり方についての議論はありませんでしたか。

(川中教育長)

今回の子ども会議ではありませんでしたが、青少年の主張大会の発表の中で、ボール遊びができないといった内容の主張がありました。ただ、公園については、事例として、公園の近所に住んでいる住民からのうるさいといった声をもとに、その公園が閉鎖されてしまったということが他県であり、コミュニティの問題をどう考えるのかというのは、すごく難しいところがあります。子どもがのびのびと運動できる場所としての公園であるとか、大人が落ち着けるような場所としての公園といった、役割分担等を含めて、今後、考えていかなければならないと思っています。ただ、八幡市では、市内にバスケットボールのコートを設置いただいたところがありますし、スケートボードパークを整備いただいたところもあり、子ども達が活動できる場所として、いろいろな形で種はまいていただいているのかなと思っています。

7. 副委員長挨拶

～閉会～